



ほしおき 情報コーナー だより

第74号
2019.2.15発行

〒006-0852 札幌市手稲区星置 2条 3丁目 14-1
星置まちづくりセンター
TEL 695-3222 FAX 695-3223



手稲区30周年
ロゴマーク

～まちの灯り～



1月30日（水曜日）、31日（木曜日）にJR星置駅前（手稲区星置1条3丁目）で、アイスクンドルの明かりで駅前を彩る「まちの灯り（あかり）」が行われ、手作りのキャンドル約100個が、会場を幻想的な明かりで包みました。

これは、駅利用者にも喜んでもらうとともに、星置駅前商店街は楽しい場所だと知ってもらうことで、地域を活性化したいと星置駅前商店街振興組合（岡本輝久（おかもと・てるひさ）理事長）が実施したもので、今年で12回目となります。キャンドルに明かりがともされると、歩行者も足を止め「きれいだね」などと言いながらキャンドルを一つ一つじっくり眺めたり、写真を撮ったりと思い思いに楽しんでいました。

会場には、手稲区マスコットキャラクター「ていぬ」と滑り台が一体となった雪像もあり、親子連れが記念撮影や、子どもらが滑り台を滑って楽しむ姿も見られました。

～第7回ぐんぺ大会開催～



2月3日（日曜日）、陸のカーリングともいわれる「ペタンク」をアレンジした「第7回星置地区ぐんぺ大会」が、2年ぶりに星置地区センター体育室で開催されました。

このイベントは、軍手の中に重りとして150グラムの砂を入れて作った「ぐんていぬ」を的に目掛けて交互に投げ合い、よりの的に近いチームが得点するというルールで、小さな子どもからお年寄りまで簡単に楽しめるゲームです。

当日は、地域住民ら約150人とボランティアの北海道あすかぜ高校の生徒さんが参加し、白熱した戦いを繰り広げました。1チーム6人編成で3回戦9ゲームずつ対戦し、24チームが競いました。投げた「ぐんていぬ」が的に近づく、参加者からは「おー！」「凄い！」と歓声上がり、大逆転となるミラクルショットも飛び出して、一投ごとに変化する状況に競技者は一喜一憂しながらゲームを楽しみました。



星置地区各種団体新年交流会

1月6日（日曜日）、星置地区連合町内会連絡協議会の主催による「星置地区各種団体新年交流会」が夢トピア・コスモプラザで開催され、来賓の小林手稲区長をはじめ総勢57名が出席者しました。

今年の新年交流会では、星置連合町内会・夢トピア町内会連合会をはじめ、手稲区役所・手稲消防署・地域の各教育機関（小・中・高・養護・幼稚園）や社会福祉協議会、民児協、商店街振興組合、各種地域団体、事業所など星置地区を支える様々な団体が一堂に会して親睦・交流を深めました。

会場では、主催者挨拶、来賓挨拶につづき恒例となった新春の舞、嘉門信彩（かもんのぶさえ）会主による「初春三番叟」のご披露があり、新年にふさわしい華やかさと和やかに包まれたひとときになりました。



区長の挨拶



新春の舞



歓談の様子



新年交流もちつき大会

1月10日（木曜日）、星置地区福祉のまち推進センター主催による新年交流「もちつき大会」を開催しました。昨年は、星置地区センターが改修中のため開催を見送りましたが、今年2年ぶりの開催となりました。

大きな石臼と杵で餅をつき“みたらし”と“きなこ”でおいしくいただきました。つきたての餅は柔らかく、何回もおかわりをする人もいました。

もちつき会場では、なつかしい“めんこ（パッチ）”や“こま回し”“けん玉”など、昔ながらの遊びも用意し、大人が昔取った杵柄よろしく、遊び方やこまの回し方などを教えている場面もあり、老若男女が楽しいひと時を過ごしました。



昔あそびの様子



手稲区30周年ロゴマークが決定しました!!

区制30周年を記念して、北海道科学大学メディアデザイン学科の学生さんがプロジェクトチームを立ち上げ、制作してくださいました。

ロゴマークのコンセプトは、～街と自然のつながり、時のながれ～。ロゴデータは、手稲区ホームページからダウンロード可能です。